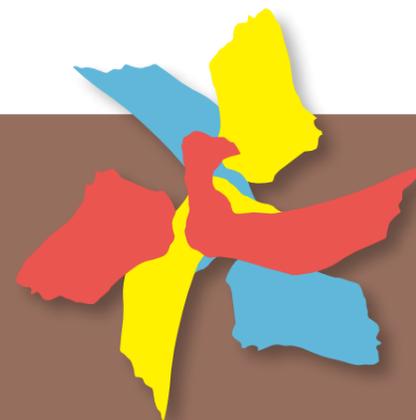


資料編



1 年表	186
2 策定体制	199
3 策定の経過	205
4 索引	211

資料編

1. 年表

あけぼの		
1334	建武元年	・南部師行が糠部郡奉行として赴任、根城を築城
1367	正平22年	・この頃、南部信光が後村上天皇から白糸威褻取鑑・兜・大袖付を拝領する
1393	明德4年	・南部政光が南北朝合体に伴い、本拠地を甲斐から八戸に移す
1592	天正20年	・豊臣秀吉の領内諸城破却令に従い、根城が廃される
1627	寛永4年	・八戸(南部)直義が根城から閉伊郡遠野(今の岩手県)に移る
1628 1630	寛永5年～ 寛永7年頃	・南部利直が八戸城下の整備を進める
1664	寛文4年	・南部直房が八戸2万石として、八戸藩誕生
1688	元禄元年	・南部直政が5代将軍綱吉の側用人となる
1695	元禄8年	・元禄の飢饉(1701元禄14年・1702元禄15年にも発生)
1721	享保6年	・法霊社御輿の渡御行列が城下を一巡、後に八戸三社大祭となる
1744	延享元年	・安藤昌益が八戸で町医者として生活
1749	寛延2年	・猪飢饉
1755	宝暦5年	・宝暦の飢饉 ・安藤昌益「自然真営道」を著わす
1783	天明3年	・天明の飢饉(天明4年まで続く)
1837	天保3年	・天保の飢饉(この年より7年続く)
1842	天保13年	・薩摩藩から養子に迎えた島津篤之丞(のち南部信順)、藩主となる
1856	安政3年	・大地震による大津波襲来
明治		
1868	明治元年	・官軍鮫浦へ着岸、青森へ向かって進発
1869	明治2年	・南部信順版籍を奉還、藩知事に任じられる
1871	明治4年	・廃藩置県により八戸県となる(同年合併し青森県となる)
1873	明治6年	・八戸小学校開校
1874	明治7年	・八戸書籍縦覧所開業
1881	明治14年	・内務省が鮫港実測のため、オランダ人技師ムルデルを派遣、翌年築港計画作成
1889	明治22年	・町村制により八戸町となる
1891	明治24年	・日本鉄道 青森～上野間全線開通に伴い尻内駅(現八戸駅)開業
1893	明治26年	・県尋常中学校八戸分校開校(現八戸高等学校)
1894	明治27年	・日本鉄道尻内・湊間開通(現在の八戸線)
1896	明治29年	・明治三陸地震の発生及びこれによる大津波の襲来
1901	明治34年	・長者村と合併

大正		
1913	大正2年	・八戸町立図書館創立
1919	大正8年	・鮫漁港の修築に着手
1921	大正10年	・日出セメント湊工場(現八戸セメント)操業
1922	大正11年	・蕪島ウミネコ繁殖地が国の天然記念物に指定
1924	大正13年	・八戸大火によって、1,400棟余りが焼失 ・八戸線種市駅まで開通
昭和		
1928	昭和3年	・小中野町宮湊川魚市場開設(現市営第二魚市場)
1929	昭和4年	・八戸町、小中野町、湊町、鮫村が合併し、市制を施行 ※5月1日
1930	昭和5年	・第1回全日本スピードスケート選手権大会開催 ・八戸港が内務省指定港湾となる ・八戸線が久慈まで開通
1932	昭和7年	・株式会社八戸魚市場創立(湊川魚市場組合の業務を継承) ・市営バス創業
1933	昭和8年	・昭和三陸地震の発生及びこれによる大津波の襲来 ※3月3日 ・市営第一魚市場開設
1935	昭和10年	・八戸港が第2種重要港湾に指定
1937	昭和12年	・日東化学工業八戸工場創設 ・種差海岸が国の名勝に指定
1939	昭和14年	・八戸商港第1期工事竣工、開港指定となる
1940	昭和15年	・館村の一部を編入
1941	昭和16年	・根城跡が国の史跡に指定
1942	昭和17年	・下長苗代村と合併 ・内務省が海軍省の委託工事として、蕪島突堤の埋め立てと道路築造に着手、翌18年完工
1946	昭和21年	・合同酒精が東北アルコール工業を合併、八戸工場として生産開始
1947	昭和22年	・第1回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催
1948	昭和23年	・八戸海上保安部を設置
1950	昭和25年	・上水道給水開始
1951	昭和26年	・八戸港が重要港湾に指定 ・日本高周波鋼業が日本砂鉄鋼業八戸工場(昭和21年創設)を買収し、八戸工場として操業 ・第6回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催 ・八戸市消防本部発足 ・八戸市立田面木公民館開館(地区公民館第1号)
1952	昭和27年	・釧路沖を震源とした地震の発生及びこれによる大津波の襲来

昭和		
1953	昭和 28年	<ul style="list-style-type: none"> ・小中野新漁港修築起工 ・市営魚菜小売市場開設 ・種差海岸が県立自然公園に指定 ・櫛引八幡宮所蔵の赤糸威鎧・兜、大袖付と白糸威褌取鎧・兜、大袖付が国宝指定
1954	昭和 29年	<ul style="list-style-type: none"> ・是川村と合併
1955	昭和 30年	<ul style="list-style-type: none"> ・市川村、館村、上長苗代村の3村と合併 ・豊崎村と合併
1956	昭和 31年	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上自衛隊八戸駐屯地開設 ・都市ガス供給開始 ・第11回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催
1957	昭和 32年	<ul style="list-style-type: none"> ・海上自衛隊八戸航空隊開隊 ・日曹製鋼八戸工場操業(現大平洋金属) ・是川石器時代遺跡が国の史跡に指定
1958	昭和 33年	<ul style="list-style-type: none"> ・旧豊崎村豊間内地区が五戸町へ編入 ・東北地方初の火力発電所操業 ・大館村と合併 ・三八城病院を買収し、八戸市立市民病院を開設
1959	昭和 34年	<ul style="list-style-type: none"> ・市営第二魚市場を開設 ・八戸港が植物防疫港に指定
1960	昭和 35年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸港が特定第3種漁港に指定 ・チリ地震の発生及びこれによる津波の襲来(死者1人、行方不明者2人、重傷者2人、被害総額4億円) ※5月24日 ・東新鋼業八戸工場操業
1961	昭和 36年	<ul style="list-style-type: none"> ・白銀大火によって、1,043棟が焼失 ※5月29日
1962	昭和 37年	<ul style="list-style-type: none"> ・青森労災病院開設 ・第17回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催 ・是川遺跡出土品が国の重要文化財に指定
1963	昭和 38年	<ul style="list-style-type: none"> ・国立八戸工業高等専門学校開校 ・天皇皇后両陛下御来八 ・八戸市体育館完成 ・是川考古館開館
1964	昭和 39年	<ul style="list-style-type: none"> ・新産業都市に八戸地区指定
1965	昭和 40年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸港が木材輸入特定港に指定 ・東霊園完成

昭和		
1965	昭和 40年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市勤労青少年ホーム開館 ・浦山助太郎氏、名誉市民に
1966	昭和 41年	<ul style="list-style-type: none"> ・三菱製紙八戸工場操業 ・八戸漁港水揚げ量日本一を記録(25万3千トン)
1967	昭和 42年	<ul style="list-style-type: none"> ・馬淵川一級河川に指定
1968	昭和 43年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市立高等看護学院(全日制)が開校 ・十勝沖地震の発生及びこれによる津波の襲来(死者19人、負傷者305人、被害総額163億円) ※5月16日 ・八戸製錬所操業 ・八戸漁港水揚げ量連続3年日本一を記録(43万トン)
1969	昭和 44年	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物産地流通加工センター建設指定 ・八戸港が穀物輸入特定港に指定 ・国立重症心身障害児(者)施設の開所 ・市制施行40周年(八戸市民憲章制定) ・長根公園スピードスケートリンク(パイピング)完成 ・八戸総合卸センター設立 ・八戸市立学校西地区給食センター完成 ・八戸市立第一高等看護学院(定時制)が開校
1970	昭和 45年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市農業センター完成 ・八太郎地区1号埠頭、1万5千トンC岸壁供用開始 ・八戸臨海鉄道株式会社開業
1971	昭和 46年	<ul style="list-style-type: none"> ・第26回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催 ・八戸地域広域市町村圏事務組合発足(1市8町4村)
1972	昭和 47年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸短期大学開学(現八戸学院大学短期大学部) ・八戸港が植物輸入特定港に指定 ・南郷地区学校給食センター完成 ・国道45号八戸バイパス一部開通 ・八戸工業大学開学 ・市民の花「菊」を制定 ・柳橋(都市計画道路3・4・8号)開通 ・長根公園に市民プール完成
1973	昭和 48年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸・苫小牧間カーフェリー就航開始
1974	昭和 49年	<ul style="list-style-type: none"> ・県新産都市会館完成

昭和		
1975	昭和 50年	<ul style="list-style-type: none"> ・市営第三魚市場開設 ・八戸市公会堂開館 ・県立種差少年自然の家完成 ・特別養護老人ホーム「やくら荘」完成 ・八戸市歴史民俗資料館開館
1976	昭和 51年	<ul style="list-style-type: none"> ・青森勤労総合福祉センター「八戸ハイツ」完成 ・八戸港臨港道路開通
1977	昭和 52年	<ul style="list-style-type: none"> ・第32回国民体育大会開催 ・老人いこいの家「臥牛荘」完成 ・国鉄八戸線高架開通 ・八太郎1号埠頭、5万トンE岸壁供用開始 ・八戸市中央卸売市場開設
1978	昭和 53年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全日本ジュニアスピードスケート競技選手権大会開催 ・福祉公民館、福祉体育館完成 ・市民の森「不習岳」開園 ・東部終末処理場の一部完成、公共下水道一部供用開始 ・八戸市総合健診センター業務開始 ・八戸漁港水揚げ量日本一(75万トン)
1979	昭和 54年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市身体障害者更生館完成 ・市制施行50周年記念式典挙行及び市民の木「イチイ」、市民の鳥「ウミネコ」を制定 ・八戸・室蘭間カーフェリー就航 ・根城大橋開通 ・八戸のえんぶりが国の重要無形民俗文化財に指定 ・八戸市立学校北地区給食センター完成
1980	昭和 55年	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛引清掃工場(現八戸清掃工場第二工場)操業開始 ・老人福祉センター「馬淵荘」完成 ・粗大ごみ処理施設完成 ・八戸市視聴覚センター「児童科学館」完成 ・八戸市南郷歴史民俗資料館開館 ・八戸大橋(通称「夢の大橋」)四車線化完成 ・八食センター開業 ・八戸市庁新館(現本館)完成 ・清水寺観音堂が国の重要文化財に指定
1981	昭和 56年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全国中学校スケート競技大会開催 ・八戸大学開学(現八戸学院大学)

昭和		
1981	昭和 56年	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉都市に指定 ・八戸植物公園開園 ・長七谷地貝塚が国の史跡に指定
1982	昭和 57年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸地域職業訓練センター開館 ・老人いこいの家「青山荘」開館 ・八戸市農業研修センター完成 ・東北グレーンターミナル操業 ・二つ玉低気圧による被害の発生(被害総額35億円) ※5月21日 ・八戸市庁前市民広場完成 ・八戸市斎場完成 ・水揚げ金額八戸漁港史上最高を記録(933億円)
1983	昭和 58年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市博物館開館 ・青森陸運事務所八戸支所開設 ・国民健康保険南郷診療所完成 ・南郷保健センター完成 ・第一高等看護学院(定時制)と高等看護学院(全日制)を統合し、二部制の八戸市立高等看護学院が発足
1984	昭和 59年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市新井田インドアリンク完成 ・八戸市立図書館が移転 ・国道45号八戸北バイパス供用開始
1985	昭和 60年	<ul style="list-style-type: none"> ・第40回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催 ・文化教養センター南部会館開設 ・八戸市水産会館完成 ・八戸市休日夜間急病診療所開設
1986	昭和 61年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸圏域水道企業団発足 ・市民保養所「洗心荘」完成 ・東北縦貫自動車道八戸線(一戸インターチェンジ～八戸インターチェンジ間)開通 ・旧八戸市美術館開館
1987	昭和 62年	<ul style="list-style-type: none"> ・特定雇用開発促進地域指定 ・八戸市東体育館完成
1988	昭和 63年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸勤労者体育施設・サンスポーツランドうみねこ完成 ・テレポートピア構想の第三次モデル都市に指定 ・水揚げ量八戸漁港史上最高を記録(82万トン)

平成		
1989	平成 元年	<ul style="list-style-type: none"> ・頭脳立地法に基づく「八戸地域集積促進計画」通産大臣承認 ・市制施行60周年記念式典挙行 ・八戸市総合教育センター完成 ・八戸市水産科学館「マリエント」完成 ・八戸市屋内トレーニングセンター完成 ・西霊園完成 ・南郷カッコーの森エコーランド完成 ・八戸環境クリーンセンター第一処理場完成 ・八戸市立高等看護学院の定時制を廃止
1990	平成 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市立学校東地区給食センター完成
1991	平成 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市教育情報ネットワークシステム開始 ・スポーツ研修センター完成 ・八戸ハイテクパーク完成
1992	平成 4年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸インテリジェントプラザ完成 ・ユートリー完成 ・南部山健康運動センター完成 ・老人いこいの家「諏訪荘」完成 ・養護老人ホーム「長生園」完成
1993	平成 5年	<ul style="list-style-type: none"> ・第48回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催 ・八戸地方拠点都市地域に指定 ・八戸港が動物検疫港に指定 ・米国ワシントン州フェデラルウェイ市と姉妹都市提携 ・八戸市総合福祉会館完成 ・八戸環境クリーンセンター第二処理場完成 ・櫛引八幡宮が国の重要文化財に指定 ・八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋が国の重要有形民俗文化財に指定 ・老人いこいの家「うみねこ荘」完成
1994	平成 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市中央卸売市場花き部開設 ・八戸市縄文学習館開館 ・東南アジアコンテナ定期航路開設 ・八戸市史跡根城の広場オープン ・第3回世界地方都市十字路会議開催 ・八戸流通センター完成 ・老人いこいの家「海浜荘」完成 ・老人福祉センター「南郷」完成 ・三陸はるか沖地震の発生 (死者2人、負傷者720人、被害総額613億円) ※12月28日

平成		
1995	平成 7年	<ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線盛岡・八戸間フル規格建設着工 ・八戸港とタコマ港(米国ワシントン州)が経済貿易協定締結 ・南郷屋内温水プール完成
1996	平成 8年	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入促進地域(FAZ)に指定 ・八戸市立白山台小学校開校 ・第三セクター(株)八戸港貿易センター設立 ・八戸清掃工場第一工場完成 ・八戸職業能力開発校完成 ・南郷総合交流ターミナル(グリーンプラザなんごう)完成 ・秋山阜二郎氏、名誉市民に
1997	平成 9年	<ul style="list-style-type: none"> ・中国コンテナ定期航路開設 ・ポートアイランド一部供用開始(35ha) ・八戸市民病院の移転新築が完成 ・風張遺跡出土品が国の重要文化財に指定
1998	平成 10年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市庁舎別館完成 ・「第4次八戸市総合計画」策定 ・八戸港貿易センター及び八戸港国際物流ターミナル開業 ・社会福祉法人八戸市社会福祉事業団事業開始 ・市内2農協合併により八戸市農協スタート ・韓国コンテナ定期航路及び北米コンテナ定期航路開設 ・主要地方道八戸三沢線尻内橋開通及び国道104号大橋開通 ・中国甘肅省蘭州市と友好都市提携
1999	平成 11年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸港八太郎地区北防波堤完成 ・市制施行70周年記念式典挙行 ・国際シンポジウム in 八戸開催 ・八戸港に内航フィーダーコンテナ航路開設 ・低気圧による大雨・洪水・暴風による被害の発生 (行方不明者1人、被害総額13億円) ※10月28日 ・八戸市農業交流研修センター完成 ・丹後平古墳群が国の史跡に指定
2000	平成 12年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸リサイクルプラザ稼動 ・八戸港とマニラ港が姉妹港提携 ・第55回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催 ・ジャズの館南郷オープン ・南郷そば振興センターオープン

平成		
2001	平成 13年	<ul style="list-style-type: none"> ・特例市に移行 ・家庭ごみ有料化実施 ・ISO14001の認証取得 ・八戸市男女共同参画基本条例施行及び男女共同参画都市宣言実施 ・八戸港八太郎2号ふ頭「多目的国際物流ターミナル」完成
2002	平成 14年	<ul style="list-style-type: none"> ・東北縦貫自動車道八戸線(八戸ジャンクション～八戸北インターチェンジ間)開通 ・屋台村みろく横丁開業 ・東北新幹線八戸開業
2003	平成 15年	<ul style="list-style-type: none"> ・「海洋立市プラン」、「教育立市プラン」策定 ・「第4次八戸市総合計画中期基本計画」策定 ・「健康はちのへ21」策定、健康都市宣言実施 ・八戸地域合併法定協議会発足 ・アジア冬季競技大会青森2003開催、スピード・アイスホッケー競技開催 ・「環境・エネルギー産業創造特区」認定 ・総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)指定 ・都市計画道路3・4・20号売市烏沢線及び白銀市川環状線など4工区間開通 ・南郷朝もやの館総合情報館・南郷農産物直売所オープン
2004	平成 16年	<ul style="list-style-type: none"> ・第59回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催 ・八戸三社大祭の山車行事が国の重要無形民俗文化財に指定 ・世増ダム完成 ・「八戸市協働のまちづくり基本条例」、「八戸市環境基本条例」制定 ・「八戸市都市計画マスタープラン」、「八戸市緑の基本計画」策定 ・アテネ五輪レスリング女子で伊調馨さんが金メダル、伊調千春さんが銀メダル獲得 ・台風第21号による被害の発生(是川地区で土砂崩れ発生) ※9月30日 ・三浦哲郎氏、名誉市民に ・是川石器時代遺跡の国史跡追加指定
2005	平成 17年	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境立市プラン」策定 ・南郷村と合併 ・八戸・久慈自動車道路「八戸南環状道路」暫定開通 ・八戸市青葉湖展望交流施設(山の楽校)オープン ・八戸港の館鼻漁港地区が「みなとオアシス」に認定 ・新エネルギー実証研究「水の流れを電気で返すプロジェクト」稼働 ・都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線「市川町工区」及び「桔梗野工区」開通
2006	平成 18年	<ul style="list-style-type: none"> ・「第5次八戸市総合計画」策定 ・根城が日本100名城に認定 ・八戸、久慈、二戸の三圏域連携懇談会スタート

平成		
2006	平成 18年	<ul style="list-style-type: none"> ・「八戸IT人材育成特区」に認定 ・はちのへ地域SNS(はちみーつ)実証実験開始 ・八戸市安全・安心まちづくり推進協議会初開催 ・第26回全国中学校スケート競技大会開催(通算5回)
2007	平成 19年	<ul style="list-style-type: none"> ・「八戸港を活用した地域産業振興戦略」策定 ・中里信男氏、名誉市民に ・八戸市立白山台中学校開校 ・八戸・久慈自動車道「八戸南道路」暫定開通
2008	平成 20年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市の安全・安心メール「ほっとスルメール」始動 ・「八戸市中心市街地活性化基本計画」内閣総理大臣認定 ・岩手県沿岸北部を震源とした地震の発生(負傷者73名、被害総額3億円) ※7月24日 ・北京五輪レスリング女子で伊調馨さんが金メダル、伊調千春さんが銀メダル獲得 ・総務省が「定住自立圏構想」先行実施団体に「八戸圏域」を選定 ・市制施行80周年記念マスコットキャラクターに「いかずきんズ」採用 ・八戸市南郷文化ホール開館 ・「グレットタワーみなと」開設 ・多目的交流広場「長者まつりんぐ広場」開設
2009	平成 21年	<ul style="list-style-type: none"> ・導水管漏水による大規模断水発生 ※1月1日 ・第81回日本学生氷上競技選手権大会(通算7回)開催 ・第64回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催 ・青森県のドクターヘリ運航開始 ・市制施行80周年記念式典挙行 ・「合掌土偶」が国宝に指定 ・八戸市と三戸郡及び上北郡おいらせ町の8市町村により八戸圏域定住自立圏を形成
2010	平成 22年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸圏域のドクターカー運行開始 ・八戸圏域水道企業団第一期拡張事業基幹施設完成 ・八戸市立白山台公民館開館 ・八戸港が重点港湾に指定 ・「第5次八戸市総合計画後期計画」策定 ・東北新幹線全線開業・青い森鉄道全線開業 ・都市計画道路3・4・12号沼館百石線「沼館大橋」開通
2011	平成 23年	<ul style="list-style-type: none"> ・第66回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催 ・八戸ポータルミュージアム「はっち」開館

平成		
2011	平成 23年	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方太平洋沖地震の発生及びこれによる大津波の襲来 (東日本大震災 市内:死者1名、行方不明者1名、負傷者65名、市外:死者4名、行方不明1名、被害総額1,213億円) ※3月11日 ・八戸市立番屋小学校閉校 ・特別養護老人ホーム「やくら荘」民間へ移譲 ・是川考古館・八戸市歴史民俗資料館閉館 ・是川遺跡出土品が国の重要文化財に追加指定 ・八戸市埋蔵文化財センター「是川縄文館」開館 ・「八戸市復興計画」策定 ・全国高等学校総合体育大会開催(女子バレーボール、アーチェリー) ・第93回全国高等学校野球選手権大会で光星学院高等学校(現八戸学院光星高等学校)が準優勝
2012	平成 24年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市連合町内会連絡協議会発足 ・第84回選抜高等学校野球大会、第94回全国高等学校野球選手権大会で光星学院高等学校(現八戸学院光星高等学校)が準優勝 ・ロンドン五輪レスリング女子で伊調馨さん、小原日登美さんが金メダル獲得 ・第7回B-1グランプリで八戸せんべい汁研究所がゴールドグランプリ獲得 ・「あおもり生業(なりわい)づくり復興特区」認定 ・東日本大震災で一部不通になっていたJR八戸線全線再開 ・ハサップ対応型荷さばき施設A棟復旧完了
2013	平成 25年	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県立八戸南高等学校閉校 ・八戸市立美保野中学校閉校 ・八戸市立豊崎幼稚園閉園 ・種差海岸が三陸復興国立公園に指定 ・八戸港完全復旧 東日本大震災被災港湾の復旧第1号 ・都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線「桔梗野工区」全線開通 ・「第2期八戸市中心市街地活性化基本計画」内閣総理大臣認定 ・是川石器時代遺跡の国史跡追加指定
2014	平成 26年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸・久慈自動車道「八戸南環状道路」全線開通 ・都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線「糠塚工区」開通 ・馬淵川河川防災ステーション完成 ・八戸市が平成25年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)を受ける ・八戸市立島守保育所閉所 ・八戸市立市民病院周産期センター新病棟稼働 ・八戸市立小中野公民館完成(防災拠点施設) ・種差海岸インフォメーションセンター及び休憩所オープン ・天皇皇后両陛下下行幸啓

平成		
2015	平成 27年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市第三魚市場A棟が産地市場として国内初のEU登録 ・都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線「中居林工区」開通 ・地域自治区「南郷区」の設置期間満了 ・八戸市立是川東小学校及び八戸市立松館小学校閉校 ・東北最大規模の液化天然ガス輸入基地「八戸LNGターミナル」本格稼働 ・蕪島休憩所オープン ・「第6次八戸市総合計画」策定 ・多賀地区に津波避難タワーが完成 ・鈴木継男氏、名誉市民に ・蕪嶋神社の社殿及び社務所が全焼
2016	平成 28年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市立市野沢小学校、中野小学校及び鳩田小学校閉校 ・八戸市立南郷小学校開校 ・南郷地区学校給食センター閉所 ・リオデジャネイロ五輪レスリング女子で伊調馨さんが金メダル獲得、史上初の女子個人種目4連覇達成 ・八戸市多賀多目的運動場完成 ・「南郷アートプロジェクト」平成28年度過疎地域自立活性化優良事例で総務大臣賞を受ける ・八戸市出身 伊調馨さんが国民栄誉賞を受賞 ・「八戸ワイン産業創出特区」に認定 ・八戸三社大祭の山車行事が「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録 ・八戸ブックセンターオープン ・八戸ポータルミュージアム「はっち」が地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞 ・是川石器時代遺跡の国史跡追加指定
2017	平成 29年	<ul style="list-style-type: none"> ・中核市に移行 ・八戸市保健所を開所 ・八戸市と三戸郡及び上北郡おいらせ町の8市町村により八戸圏域連携中枢都市圏を形成 ・八戸市立西白山台小学校開校 ・建て替えのため旧八戸市美術館閉館 ・市制施行88周年記念イベントを開催 ・沼館地区に津波防災センターが完成 ・八戸市階上町田代小学校中学校組合立田代小中学校閉校 ・北インター工業団地に八戸市立学校西給食センターが移転
2018	平成 30年	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後平古墳群出土品が国の重要文化財に指定 ・八戸まちなか広場が完成 ・北海道苫小牧市と連携協定締結 ・蕪島プロムナード公園オープン ・ヴァンラーレ八戸FCがJ3リーグ参入決定

平成		
2019	平成 31年	<ul style="list-style-type: none"> ・えんぶりの日(2月17日)を制定 ・八戸西スマートインターチェンジ開通 ・八戸圏域版DMO「VISITはちのへ」設立
令和		
2019	令和 元年	<ul style="list-style-type: none"> ・市制施行90周年記念式典挙行及び市民のさかな「イカ」を制定 ・みちのく潮風トレイル全線開通 ・八戸市みなと体験学習館「みなっ知」オープン ・長根屋内スケート場が完成 ・第60回外国人による日本語弁論大会を開催
2020	令和 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市立美保野小学校閉校 ・第75回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会開催 ・蕪嶋神社の社殿及び社務所の再建完了 ・蕪島物産販売施設「かぶーにゃ」オープン ・田向地区に総合保健センターが完成 ・八戸市立市民病院緩和ケア病棟稼働 ・都内に八戸圏域の情報発信拠点八戸都市圏交流プラザ「8base」オープン ・第88回全日本アイスホッケー選手権大会開催
2021	令和 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸・久慈自動車道が全線開通 ・第二魚市場荷さばき所D棟が稼働 ・東霊園内に合葬墓が完成 ・是川石器時代遺跡が「北海道・北東北の縄文遺跡群」としてユネスコ世界遺産に登録 ・第44回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会開催(通算7回) ・東京2020オリンピック聖火リレー実施 ・東京2020パラリンピック聖火フェスティバル実施 ・東京2020パラリンピックゴールボール女子で天摩由貴さんが銅メダル獲得 ・八戸ブックセンターがライブラリー・オブ・ザ・イヤー2021特別賞を受賞 ・八戸市美術館がリニューアルオープン ・三陸沿岸道路が全線開通
2022	令和 4年	<ul style="list-style-type: none"> ・田向地区に八戸市総合健診センターが移転し供用開始 ・第71回全国高等学校スケート競技選手権大会開催(通算13回) ・交通系ICカード「ハチカ」、路線バスへ導入 ・第89回全日本スピードスケート選手権大会開催(通算13回)

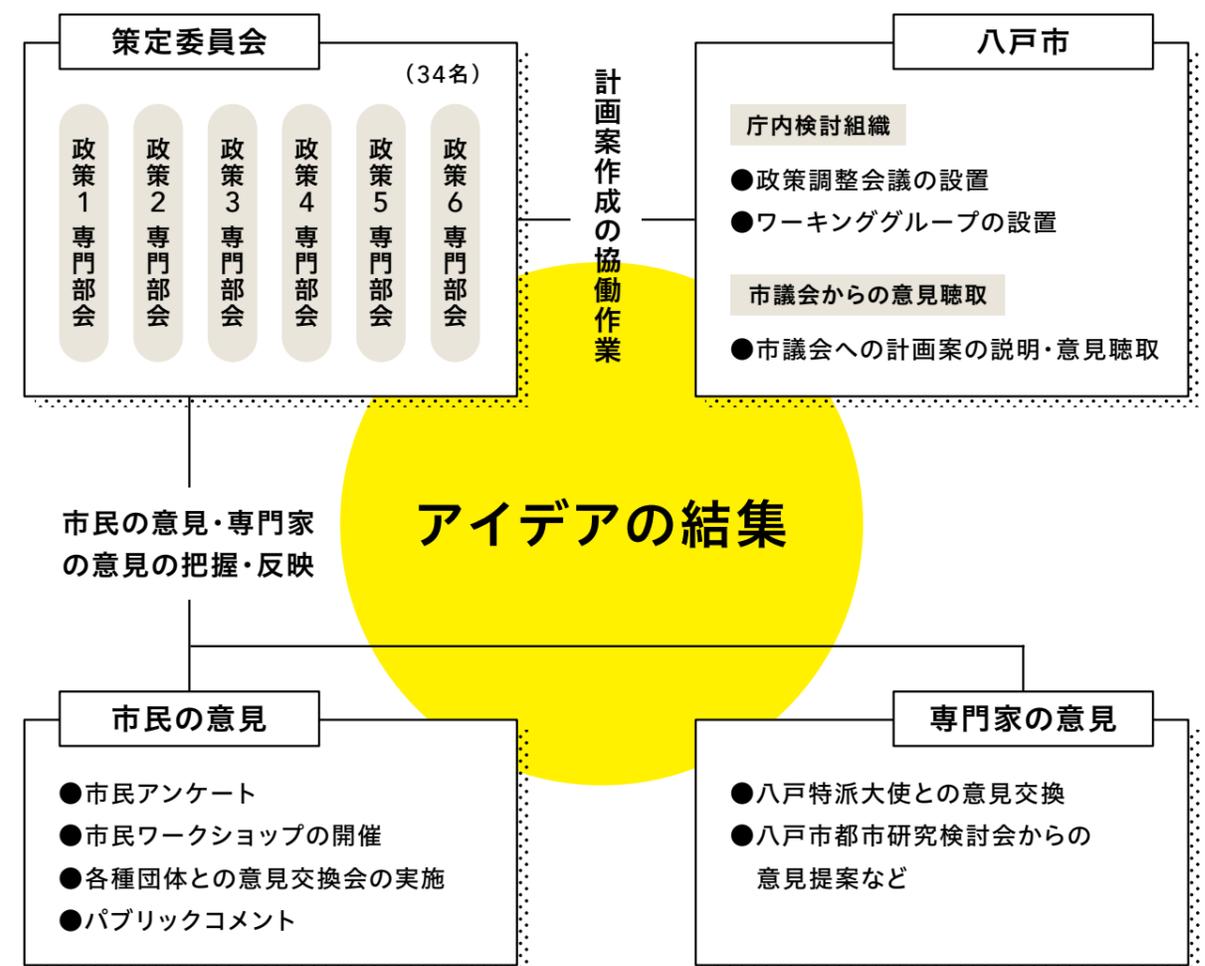
2. 策定体制

総合計画の策定に当たっては、各分野の有識者及び公募委員の合計34名で構成する策定委員会を設置し、総合計画全体の検討を行うとともに、6つの政策ごとに専門部会を設置し、各政策の内容について専門的な検討を加えました。

また、庁内には、各部の次長級職員をメンバーとする政策調整会議を設置し、計画案の作成に係る全体調整を行うとともに、政策ごとに組織横断的なワーキンググループを設置し、策定委員会の専門部会と協働して6つの政策の検討を行いました。

さらに、計画の策定状況について、市のホームページや広報等により広く市民に周知を図るとともに、市民の声を最大限に反映させるため、市民アンケート、市民ワークショップ、各種団体との意見交換会(グループヒアリング)、市議会からの意見聴取、地域シンクタンクである八戸市都市研究検討会からの提案、パブリックコメントなどを実施し、計画づくりへの積極的な市民参画を図りました。

(八戸市総合計画策定体制図)



■ 八戸市総合計画策定委員会 委員名簿

敬称略:五十音順

※役職は、委員委嘱時のもの

※「*」は任期の途中で離任した委員

※委員任期は令和元年7月1日から令和4年2月1日(左記期間の途中で委嘱又は解嘱した委員には任期を記載)

委員会名簿

氏名	役職	任期
池田 和夫 *	八戸市企業誘致促進協議会 監事	R1.7.1～R3.6.25
石橋 充志	公募委員	R3.8.31～R4.2.1
石橋 伸之	八戸市連合父母と教師の会 会長	
今川 和佳子	多文化都市八戸推進懇談会 委員	
上村 康浩	青森県畜産・飼料コンビナート振興協会 副会長	
浮木 隆	八戸市社会福祉協議会 事務局長	
小笠原 嘉	八戸市体育協会 理事長	
岡本 信也	公募委員	
小野 武司 *	連合青森三八地域協議会 議長	R1.7.1～R1.11.25
於本 正	八戸市交通安全対策協議会 副会長	
川本 菜穂子	災害ボランティアコーディネーター連絡協議会 副会長	
菊地 敏男 *	公募委員	R1.7.1～R3.6.25
北山 博秋	八戸市連合町内会連絡協議会 理事	
衣川 正剛	八戸市企業誘致促進協議会 監事	R3.7.15～R4.2.1
工藤 恵美子	八戸市協働のまちづくり推進委員会 委員	
熊谷 俊一	八戸市医師会 会長	R3.7.15～R4.2.1
熊谷 拓治	八戸漁業指導協会 代表理事	
坂本 久美子	公募委員	
澤藤 孝之	八戸港振興協会 専務理事	
高木 伸也 *	八戸市医師会 会長	R1.7.1～R3.6.25
武山 泰	八戸市都市計画審議会 会長	
武輪 俊彦	八戸商工会議所 副会頭	
塚原 隆市	VISITはちのへ 理事長	
堤 静子	八戸市男女共同参画審議会 会長	
鶴飼 恵美	八戸青年会議所 理事	

氏名	役職	任期
田頭 順子	八戸国際交流協会 理事	
中村 一明	連合青森三八地域協議会 議長	R3.12.28～R4.2.1
中谷 美由紀	八戸地区介護保険事業者協会 理事	
西川 弥生	八戸市行政改革委員会 委員	
橋本 敏子	公募委員	
委員長 ▶ 長谷川 明	八戸工業大学 学長	
東山 国男	身体障害者団体連合会 会長	
平間 恵美	八戸市子ども・子育て会議 委員	
町田 直子	NPO法人 ACTY 理事長	
圓山 重直	八戸工業高等専門学校 校長	
水越 善一	八戸農業協同組合 代表理事専務	
副委員長 ▶ 水野 眞佐夫	八戸学院大学 学長	
吉田 博充 *	連合青森三八地域協議会 議長	R1.11.28～R3.12.3
類家 伸一	NPO法人 循環型社会創造ネットワーク 相談役	



専門部会名簿

敬称略:五十音順
※「*」は任期の途中で離任した委員

政策1 「ひと」を育む
子育て 教育 文化 スポーツ

石橋 伸之

今川 和佳子

小笠原 嘉

田頭 順子 **副部会長**

平間 恵美 **部会長**

水野 眞佐夫

政策2 「経済」を回す
産業 雇用

池田 和夫 * 澤藤 孝之 **副部会長**

上村 康浩 武輪 俊彦 **部会長**

衣川 正剛 水越 善一

熊谷 拓治 中村 一明

吉田 博充 *

政策3 「暮らし」を守る
環境 防災 防犯 健康

於本 正

川本 菜穂子

坂本 久美子

熊谷 俊一 **副部会長**

高木 伸也 *

類家 伸一 **部会長**

政策4 「ともに生きる社会」をつくる
福祉 コミュニティ 多文化共生

浮木 隆 **副部会長**

北山 博秋

工藤 恵美子

堤 静子 **部会長**

中谷 美由紀

東山 国男

政策5 「まち」を形づくる
都市整備 公共交通

石橋 充志

菊地 敏男 *

武山 泰 **副部会長**

西川 弥生

橋本 敏子

圓山 重直 **部会長**

政策6 「八戸らしさ」を活かす
シティプロモーション 観光 国際交流

岡本 信也

塚原 隆市 **副部会長**

鶴飼 恵美

長谷川 明

町田 直子 **部会長**

計画策定への市民の参画

令和元年度	
市民アンケート 令和元年8月9日～9月2日	市内在住の満18歳以上、無作為抽出の市民3,000人を対象。 回収数:1,508票 回収率:50.3%
情報技術の進展に関するグループヒアリング 令和元年8月27日	参加者数:14人(2団体)
持続可能な市街地形成に関するグループヒアリング 令和元年8月27日	参加者数:23人(4団体)
地域コミュニティの振興に関するグループヒアリング 令和元年9月9日	参加者数:16人(1団体)
スポーツによる活性化に関するグループヒアリング 令和元年9月10日	参加者数:12人(5団体)
国際化への対応に関するグループヒアリング 令和元年9月10日	参加者数:12人(4団体)
女性活躍の推進に関するグループヒアリング 令和元年9月12日	参加者数:17人(4団体)
若者から見た地域の魅力に関するグループヒアリング 令和元年10月3日	八戸工業大学 参加者数:5人 八戸学院大学 参加者数:5人 八戸学院大学短期大学部 参加者数:2人 八戸工業高等専門学校 参加者数:5人
中・高校生アンケート 令和元年10月17～23日	市内の中学校及び高等学校に通う中学生・高校生及び保護者2,036人を対象。 回収数:1,962票 回収率:96.4%

令和元年度

首都圏等の専門家からの意見聴取 令和元年11月8・13・14・29日	ヒアリング対象者:4名
ワークショップ 令和元年12月8・22日	8日 参加者数:19人 22日 参加者数:13人

令和3年度

市民アンケート 令和3年8月11～27日	市内在住の満18歳以上、無作為抽出の市民3,000人を対象。 回収数:1,668票 回収率:55.6%
グリーン社会の実現に関するグループヒアリング 令和3年10月6日	参加者数:30人(6団体)
デジタル化の推進に関するグループヒアリング 令和3年10月13・25日	参加者数:18人(4団体)
共生社会づくりの推進に関するグループヒアリング 令和3年10月14日	参加者数:11人(4団体)
八戸市都市研究検討会からの提言 令和3年11月2日	【提言のテーマ】 中心市街地の活性化及びアートのまちづくりの「これから」について
計画原案市民意見公募 令和3年12月13日～令和4年1月11日	意見数:0件

3. 策定の経過

年月	策定委員会	八戸市	市議会	市民意見等
令和元年5月		第1回政策調整会議 10日		
令和元年6月		第2回政策調整会議 21日	市議会全員協議会 5日	
令和元年7月	第1回策定委員会 1日		総務協議会 19日	
令和元年8月				市民アンケート 9日～9月2日
				情報技術の進展に関するグループヒアリング 27日
				持続可能な市街地形成に関するグループヒアリング 27日
令和元年9月		第3回政策調整会議 24日		地域コミュニティの振興に関するグループヒアリング 9日
				スポーツによる活性化に関するグループヒアリング 10日
				国際化への対応に関するグループヒアリング 10日
				女性活躍の推進に関するグループヒアリング 12日
令和元年10月	第2回策定委員会 2日			若者から見た地域の魅力に関するグループヒアリング 3日
				中・高校生アンケート 17～23日
令和元年11月	第3回策定委員会 28日	第4回政策調整会議 25日		首都圏等の専門家からの意見聴取 8・13・14・29日

年月	策定委員会	八戸市	市議会	市民意見等
令和元年 12月			会派意見聴取 9~11日	市民ワークショップ 8・22日
令和2年 1月	第4回策定委員会 10日	第5回政策調整会議 8日		
	第1回専門部会 10日			
令和2年 2月	第5回策定委員会 17日	第6回政策調整会議 14日		
	第2回専門部会 17日			
令和2年 3月			会派意見聴取 4~6日	

➡ 令和2年4月～令和3年6月 策定作業休止

令和3年 7月	第6回策定委員会 15日	第7回政策調整会議 6日		
令和3年 8月	第7回策定委員会 31日	第8回政策調整会議 27日		市民アンケート 11日~27日
	第3回専門部会 31日			
令和3年 9月			会派意見聴取 13・14・16・21日	
令和3年 10月		第9回政策調整会議 19日		グリーン社会の実現に関する グループヒアリング 6日
			デジタル化の推進に関する グループヒアリング 13・25日	
			共生社会づくりの推進に関する グループヒアリング 14日	

年月	策定委員会	八戸市	市議会	市民意見等
令和3年 11月	第8回策定委員会 2日	第10回政策調整会議 22日		八戸市都市研究検討会からの提言 2日
	第4回専門部会 2日			
令和3年 12月			会派意見聴取 7日・13~15日	計画原案市民意見公募 13日~1月11日
令和4年 1月	第9回策定委員会 27日	第11回政策調整会議 24日		
令和4年 2月	計画案市長提出 1日		市議会全員協議会 16日	
令和4年 3月			予算特別委員会 7日	
			第7次八戸市総合計画議決 17日	
17日 第7次八戸市総合計画の完成				



■ 八戸市総合計画策定委員会 規則

平成25年3月25日
規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、八戸市附属機関設置条例(平成25年八戸市条例第6号)第3条の規定に基づき、八戸市総合計画策定委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 委員会は、総合計画の策定に関し必要な事項について調査及び検討をし、市長に対して総合計画の案を提出するものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員40人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 優れた識見を有する者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 公募に応じた者

3 委員の任期は、前条に規定する職務が終了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。

3 委員長は、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき委員会の委員長の職務は、市長が行う。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第6条 委員会に、総合計画の策定に関し専門的な調査及び検討をするため、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会は、委員会の委員長が指名した委員(次条第1項の規定により専門委員が置かれた場合にあつては、当該専門委員を含む。以下この条において同じ。)をもって組織する。

3 部会に、部会長及び副部会長各1人を置く。

4 部会長及び副部会長は、当該部会に属する委員の互選によって定める。

5 部会長は、部会の会務を掌理する。

6 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

7 前条(第1項ただし書を除く。)の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「委員会」とあるのは「部会」と、「委員長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(専門委員)

第7条 委員会は、専門の事項について調査及び検討をさせるため、専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、知識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、市長が委嘱する。

3 専門委員の任期は、当該専門の事項に関する調査及び検討が終了するまでとする。

(資料の提出の要求等)

第8条 委員会又は部会は、必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、政策推進課において処理する。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会及び部会の組織及び運営等に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 八戸市総合計画審議会条例施行規則(昭和46年八戸市規則第29号)は、廃止する。

■ 八戸市議会の議決すべき事件を定める条例

平成21年3月27日

八戸市条例第17号

改正 平成26年9月26日

八戸市条例第36号

改正 平成29年3月17日

八戸市条例第3号

(趣旨)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第2項の規定に基づく議会の議決すべき事件については、他の条例に定めるもののほか、この条例の定めるところによる。

(議決すべき事件)

第2条 市長は、総合計画(総合的かつ計画的な市政運営を図るための政策の方向性及びそれに基づき取り組むべき施策を定めた計画をいう。)の策定、変更又は廃止については、議会の議決を経なければならない。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附則(平成26年9月26日条例第36号)

この条例は、公布の日から施行する。

附則(平成29年3月17日条例第3号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

索引

あ行

あおり運転	119
イノベーション	47
インダストリー4.0	8
インバウンド	167
インフラ	14
エコドライブ	117
エンゲージメント	11
オンライン観光	180

か行

カーボンニュートラル	49
海溝型地震	45
回遊性	156
核家族	68
合葬墓	158
合併処理浄化槽	157
環境教育	76
緩和ケア病棟	128
キャッシュレス決済	94
業況判断DI	27
協働	2
グリーン化	2
グリーン社会	2
グローバル・パートナーシップ	61
グローバル化	7
ケアマネジメント	141
健康寿命	78
県内総生産	16
合計特殊出生率	7
コーディネーター	100
国際フィーター航路	95
国土強靱化	11
国内総生産(GDP)	8
国連気候変動枠組条約	9
コミュニケーションツール	180
コミュニティバス	169
コンビナート	32

さ行

再生可能エネルギー	113
栽培漁業	92
シェアリングエコノミー	7
自助・共助・公助	110
自然増減	29
持続可能な開発のための2030アジェンダ	10
持続可能な開発目標(SDGs)	7
自治体戦略2040構想研究会	39
シティープロモーション	59
児童委員	140
市内総生産	20
社会教育	26
社会増減	29
循環型社会	59
省エネルギー	113
情報化	68

情報リテラシー	119
食育	76
食品ロス	117
水源涵養	86
スポーツビジネス	59
スマートフォン	119

た行

第4次産業革命	7
待機児童	74
耐震化	157
多重債務者	126
脱炭素化	2
多文化共生	59
短観	27
男女共同参画	59
地域福祉活動	140
地域包括ケアシステム	136
地域密着型教育	71
地方創生	15
中核市	17
データセンター	32
デジタル化	2
デジタル・ガバメント	9
デジタル投資	84
デジタルトランスフォーメーション(DX)	9
テレマーケティング	101
テレワーク	14
転入超過	19
転入超過	14
ドクターカー	128
ドクターヘリ	128
特定外来生物	112
都市のスポンジ化	43
土地区画整理事業	31
ドナー	132
徒歩圏人口カバー率	31

な行

日EU-EPA	89
ネウボラ	70

は行

ハード・ソフト	11
バイヤー	95
バスロケーションシステム	167
働き方改革	84
八戸ブランド	59
バックキャスト	39
バリアフリー	158
バリ協定	9
ファンミーティング	178
フィンテック	7
フォアキャスト	39
フォローアップ	107
プラットフォーム	62

ブランド化	87
文化プログラム	82
ヘルスリテラシー	127
ポータルセールス活動	95

ま行

まち・ひと・しごと創生総合戦略	11
マッチング	95
未婚化	70
ミレニアム開発目標(MDGs)	10
民生委員	140

や行

有効求人倍率	102
ユニバーサルデザイン	158

ら行

ライフスタイル	78
ライフステージ	68
ライフライン	157
リーマンショック	16
立地適正化計画	156
連携中枢都市圏	17
労働力人口	13
ロードマップ	49

わ行

ワーク・ライフ・バランス	73
--------------	----

アルファベット・数字

3R	113
AI	2
DMO	94
IoT	2
LED	124
MICE	98
NPO	4
SNS	145
Society 5.0	2
TEU	25
TPP11	89
UIJターン	108
V-RESAS	28

■編集・発行

八戸市 総合政策部 政策推進課

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

TEL 0178-43-2111(代表)

FAX 0178-47-1485

ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>